



Silk Test 21.0

リリースノート

Micro Focus
The Lawn
22-30 Old Bath Road
Newbury, Berkshire RG14 1QN
UK
<http://www.microfocus.com>

© Copyright 1992-2020 Micro Focus またはその関連会社。

MICRO FOCUS、Micro Focus のロゴおよび Silk Test は、Micro Focus またはその関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

2020-10-27

目次

Silk Test 21.0 リリース ノート	4
Silk Test 製品スイート	5
システム要件および前提条件	7
ハードウェア要件	7
ソフトウェア要件	7
Silk Test の新機能	8
Silk4J と Silk4NET の新しい名称 - UFT Developer 16.0	8
Python のサポート	8
新しい IDE のサポート	8
AI によるインテリジェントなテスト自動化	8
HTML 形式の結果レポートにおけるイメージ検証	8
ブラウザ サポートの自動更新	9
スタンドアロン Recorder	9
AutoPass のサポート	9
ユーザビリティの改善	9
使用技術の更新	9
既知の問題	10
解決済みの問題（機能拡張要求を含む）	11
Micro Focus へのお問い合わせ	13
Micro Focus SupportLine が必要とする情報	13
Silk Test のライセンス	14
ライセンス情報	14
テストされたソフトウェア	16

Silk Test 21.0 リリースノート

このファイルには、ヘルプに記載されていない重要な情報が含まれている場合があります。このファイル全体をお読みください。

インストールおよびライセンスの問題については、『[Silk Test インストール ガイド](#)』を参照してください。

このドキュメントの最新バージョンについては、『[リリースノート](#)』を参照してください。

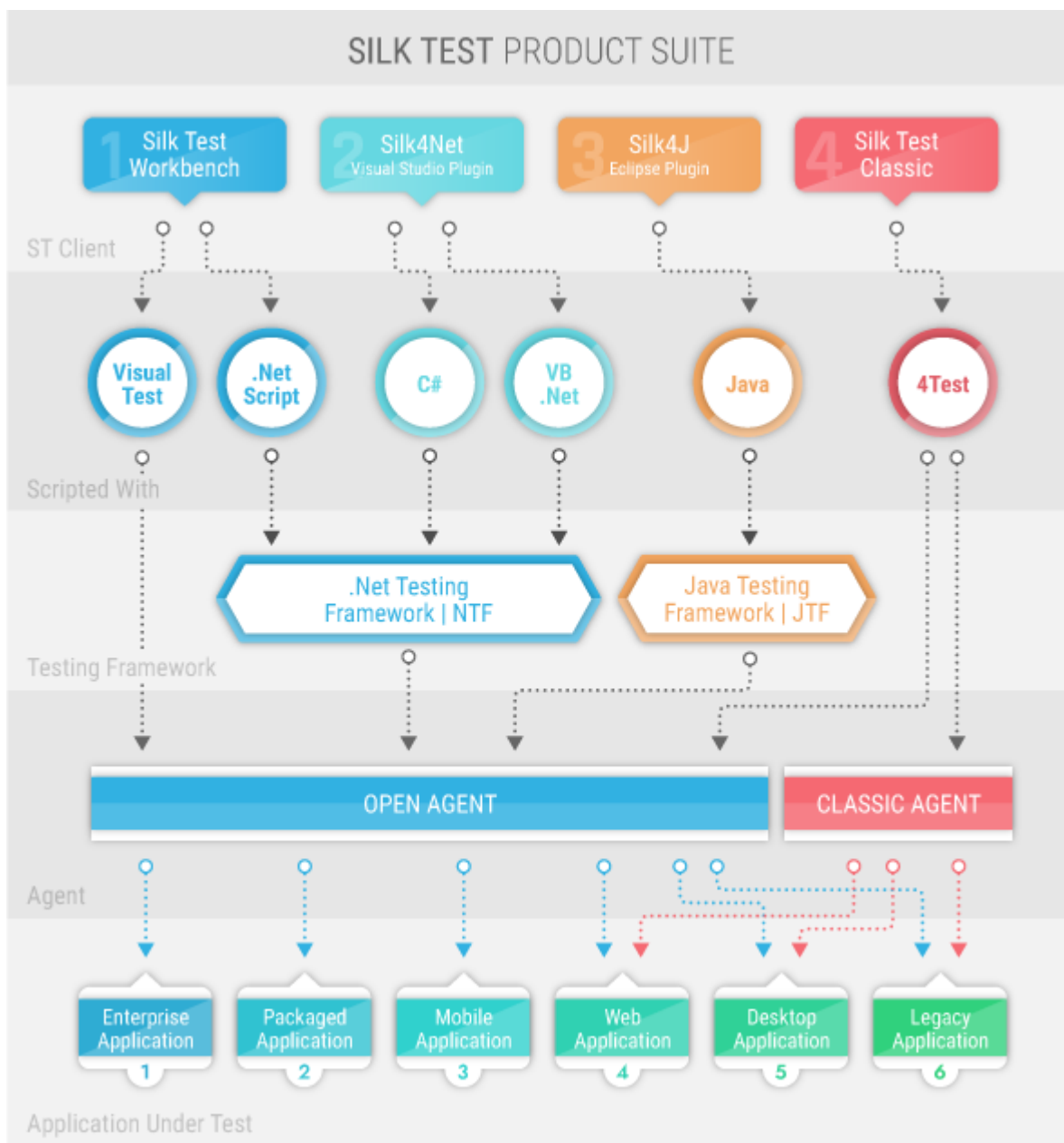
カスタマー ケアからサポートを受けるには、supportline.microfocus.com に移動してください。

Silk Test 製品スイート

Silk Test は、高速で信頼性の高い機能テストと回帰テストを行うための自動テスト ツールです。Silk Test は、高品質のソフトウェアをすばやくリリースするために、開発チーム、品質管理チーム、ビジネス アナリストを支援します。Silk Test を使用すると、アプリケーションが意図したとおりに動作することを確実にするために、複数のプラットフォームとデバイス上でテストを記録/再生することができます。

Silk Test 製品スイートには、以下のコンポーネントが含まれています。

- Silk Test Workbench : Silk Test Workbench は、品質テスト環境です。上級者用の .NET スクリプトと、より幅広い利用者がテストを行えるようにする使いやすいビジュアル テストが提供されます。
- UFT Developer (Silk4NET) : UFT Developer (Silk4NET) Visual Studio プラグインを使用すると、Visual Studio で直接 VB.NET または C# のテスト スクリプトを作成できます。
- UFT Developer (Silk4J) : UFT Developer (Silk4J) Eclipse プラグインを使用すると、Eclipse 環境で直接 Java ベースのテスト スクリプトを作成できます。
- Silk Test Classic : Silk Test Classic は、4Test を使用したスクリプトを作成できる Silk Test クライアントです。
- Silk Test Agent : Silk Test Agent は、テストのコマンドを GUI 固有のコマンドに変換するソフトウェア プロセスです。つまり、テストするアプリケーションをエージェントが動かし、監視しています。ホストマシン上で 1 つのエージェントをローカルに実行できます。ネットワーク環境では、任意の数のエージェントをリモート マシン上で実行できます。



上の画像の個々のボックスのサイズは、記述上の理由で異なっているだけで、含まれる機能を反映しているわけではありません。

インストールする製品スイートによって、使用できるコンポーネントが決まります。すべてのコンポーネントをインストールするには、完全インストール オプションを選択します。Silk Test Classic を除くすべてのコンポーネントをインストールするには、標準インストール オプションを選択します。


システム要件および前提条件

以下のセクションでは、Silk Test をインストールして実行するためのシステム要件を示します。

ハードウェア要件

Micro Focus では、以下のハードウェア要件をお勧めします。

システム領域	要件
プロセッサ	Intel または AMD の Dual-Core プロセッサ (2 GHz)
RAM	4 GB の空きメモリ
ハードディスク領域	4 GB の空きディスク領域

 **注:** 自作機 (ベアボーンキット、ショップブランド機を含む) は動作保証外です。推奨するハードウェアは、Silk Test の最低限の要件を提示したものです。テスト対象アプリケーションやテスト環境の要件によっては、追加のハードウェアが必要となる場合があります。

iOS デバイス上でテストする場合は、1 GB 以上の RAM を持つデバイスを使用することを Micro Focus では推奨しています。

iOS 上で、Apple Safari の Web アプリケーションやモバイル アプリケーションをテストするには、次のハードウェアの Mac が必要です。

システム領域	要件
オペレーティングシステム	OS X El Capitan 10.11.3 以降
ハードディスク領域	1 GB の空きディスク領域

ソフトウェア要件

Silk Test をインストールして実行するには、次のソフトウェアがインストールされている必要があります。


- Microsoft .NET Framework 4.7 以降 (フルセットアップ)
- [Windows Update 3118401 \(Windows での汎用の C ランタイム\)](#)
- Silk Test をインストールするマシンのオペレーティングシステムのビット数に応じて、対応する 32 ビットまたは 64 ビットの Silk Test セットアップパッケージが必要になります。

Silk Test の新機能

Silk Test では、以下の新しい機能がサポートされています。

Silk4J と Silk4NET の新しい名称 - UFT Developer 16.0

開発者用製品である Silk4J および Silk4NET の名前が UFT Developer に変わりました。新しい IDE のサポートが追加されたことからわかるように、このことは Silk ユーザーにとっても非常に大きな第一歩となります。

 **注:** UFT Developer 16.0 は Silk Test 21.0 リリースの一部として、EAP の扱いになります。

Python のサポート

UFT Developer 16.0 の SDK が拡張され、Python でスクリプトを記録および再生できるようになりました。これにより、Python コード スキルを保有した開発者も UFT Developer を簡単に使用できるようになります。UFT Developer 16.0 および Silk Test 21.0 の新しいスタンドアロン Recorder を使用すれば、PyCharm や Visual Studio Code のような IDE 上から Python スクリプトの記録/再生を簡単に行えます。

新しい IDE のサポート

- テストの作成、保守、実行に IntelliJ を使用できるようになりました。操作の記録、Locator Spy、プロジェクト ウィザードは、本リリースですでに提供されています。
- スタンドアロン Recorder が新たに追加され、コマンドラインからの実行をサポートする任意の IDE (PyCharm、Visual Studio Code など) から Recorder を起動してスクリプトを記録できるようになりました。

AI によるインテリジェントなテスト自動化

Silk Test に人工知能 (AI) および OCR 機能が新たに加わり、インテリジェントなテスト自動化分野への大きな一歩を踏み出しました。現時点では、QA およびアジャイル テスト担当者が Web およびモバイル テストに対する自動化問題に対応できるように設計されていますが、今後、ほかのテクノロジーへの導入も予定されています。Silk Test の新しい AI ベースのテストを使用すると、テストの作成時間が減少し、テスト カバレッジを高めることができます。また、テスト資産の柔軟性も向上し、テストの保守にかかるコストを改善できます。

 **注:** 現時点では、AI ベースのテストは UFT Developer 16.0 (Silk4J/SilkNET/Python) で利用できません。

HTML 形式の結果レポートにおけるイメージ検証

機能テストにおいて検証は重要な指標です。Silk Test では、アプリケーションの表示上の違いを比較して確認できます。アプリケーションの変更点やイメージ検証で失敗した理由を簡単に発見できるように、HTML 形式の結果レポートに、イメージの相違点を表示する機能が Silk Test 21.0 および UFT Developer 16.0 に追加されました。

ブラウザ サポートの自動更新

Chrome、Edge、Firefox、Opera などのブラウザは、定期的かつ頻繁に更新されており、そのたびにすべてのテスト環境で UFT Developer や Silk Test を手動で更新するのは非常に手間のかかる作業になっています。Silk Test 21.0 および UFT Developer 16.0 では、新しいバージョンのブラウザをサポートするために必要なすべての WebDriver ファイルが自動的にダウンロードされるようになりました。隔離された環境で作業している場合は、内部のファイルストレージでダウンロードするファイルを管理することもできます。

スタンドアロン Recorder

Recorder や Locator Spy をコマンドラインから開始できるようになりました。これにより任意の IDE に記録機能をシームレスに統合できるようになりました。Recorder を使うと、Selenium ベースのスクリプト (Java、C#、VB、Python、Javascript、Ruby) または Silk Test ベースのスクリプト (Java、C#、Python) を生成できます。

AutoPass のサポート

Silk Test 21.0 では、Silk Meter ライセンス サーバーに加え、AutoPass ライセンス サーバーもサポートされるようになりました。

ユーザビリティの改善

Status ウィンドウの場所の設定

Silk Test Classic の Status ウィンドウの場所をカスタマイズできるようになりました。場所の設定は 5 つの解像度まで保存され、Silk Test Classic は適切なものを選択します。何も設定されていない場合は、デフォルトが使用されます。

VB.NET デバッグ時のグローバル オブジェクト

Silk Test では、.NET スクリプトのデバッグ時にグローバル オブジェクト (モジュール レベルで宣言されたオブジェクト) が表示されるようになりました。

使用技術の更新

Silk Test は、Microsoft Edge (Chromium ベース) 81 から 86 をサポートするようになりました。

Silk Test は、Java 14 をサポートするようになりました。

Silk Test は、SAPGUI クライアント 7.60 をサポートするようになりました。

Silk Test は、iOS 14 と Android 11 をサポートするようになりました。

UFT Developer (Silk4J) を IntelliJ 2019.3 以降 (32 ビットおよび 64 ビット) に統合できるようになりました。

既知の問題

使用している Silk Test クライアントに応じて、クライアントの既知の問題とその解決策に対応したリンクをクリックしてください。

Silk Test Workbench

[Silk Test Workbench の既知の問題](#)

UFT Developer (Silk4J)

[UFT Developer \(Silk4J\) の既知の問題](#)

UFT Developer (Silk4NET)

[UFT Developer \(Silk4NET\) の既知の問題](#)

Silk Test Classic

[Silk Test Classic の既知の問題](#)

解決済みの問題（機能拡張要求を含む）

解決された問題と、実装された機能拡張要求を以下に示します。

SI #	RPI #	説明
3208538	610540	[機能拡張要求] Silk Test スクリプトの実行中に動画を撮影する機能
3210218	642562	[Silk Test Workbench] データベース用ディスク領域不足メッセージについて
3108647	1109953	[Silk Test] [機能拡張要求] コンピューターがスリープ状態になったときに表示されるエラーメッセージが不適切
3114527	1110294	Status ウィンドウの場所が不適切
3117926	1110562	[Silk Test Classic] Internet Explorer と Firefox で InternetBrowser の呼び出し結果が異なる
3223954	1110588	[STWB] カスタム エラー ハンドラーでスクリプト名と行番号を取得したい
3165307	1114819	[Silk Test Workbench] [機能拡張要求] Workbench VB.NET デバッガー
3173188	1115503	[機能拡張要求] Silk Test Workbench 条件デザイナー
3173190	1115505	[Silk Test Workbench] エラー ハンドラーに対する機能拡張要求
3173233	1115506	[Silk Test Workbench] 再生ステータスに実行中の操作の行番号を表示してほしい
3173220	1115509	挿入 > コントロール にオブジェクト マックから選択を追加してほしい
3176438	1115813	[Silk Test Workbench] [機能拡張要求] テスト実行を中止するメソッド
3177776	1115892	[機能拡張要求] Open Agent のキープアライブ機能
3205852	1118275	[Silk Test Mobile] 実行時に特定のモバイル デバイスを無視する機能
3205478	1118336	[STWB] アセット ブラウザーの結果資産に表示される 結果の詳細 列の値が正確でない
3210895	1118665	[Silk Test Workbench] 大規模なリストを持つ iOS アプリに対するオブジェクト解決が正しく機能しない
3211085	1118752	desktop.waitForChildDisappearance(locator, timeout) が C#/WPF/De に対して正しく機能しない
3212655	1118835	[Silk Test Workbench] エラー処理時の入力パラメーターが更新されない
3214145	1118964	iOS 13.x の再生パフォーマンスが悪い
3215031	1119034	[Silk4] 指定された位置はアプリケーションの矩形の範囲内にありません
3206529	1119072	Chrome に対する記録が失敗する
3215226	1119074	[Silk Test Workbench] Workbench からの Chrome での再生が Internet Explorer より遅い
3215456	1119075	ワイルドカード文字を含んだルート ノードの下にオブジェクトを挿入できない
3221536	1119638	SYS_GetEnv が HOST_GetEnv のように動作する
3222331	1119732	[Silk Test Classic] InvokeBrowserBaseState を Chrome に対して実行すると完了に 5 分かかる
3210801	1119734	[Silk Test Classic] partner.ini が正しく更新されない (3208621 の複製)
3222865	1119782	[Silk4] iOS 上の Safari ブラウザーが見つからずにタイムアウトする

SI #	RPI #	説明
3223722	1119818	[Silk Test] AutoPass ライセンス管理 - サーバー名に誤りがあると Silk Test がクラッシュする
3223620	1119820	Silk Performer が生成した *.testsettings ファイルにより、オブジェクト マップが読み込めなくなる
3223621	1119836	[Silk4] Xcode 11.4 で WebDriverAgent アプリをビルドできない
3224375	1119905	[Silk Test Workbench] 新しいユーザーが最初にログインしたときに他のプロジェクトの資産を参照できない
3224623	1119989	[Silk Test] 不明なサーバー エラーが発生する
3225348	1119998	[Silk Test Workbench] Workbench 20.5 HF1 で資産の説明を変更できない
3224252	1120017	[Silk Test Workbench] データベースのアップグレード時に表示されるメッセージが途中で切れている
3224594	1120034	[機能拡張要求] Android エミュレーターについての説明を Google ドキュメントの参照にしてほしい
3226277	1120124	[Silk Test Workbench] ログイン画面の 構成 ボタンを無効にしてほしい
3226823	1120158	[Silk Test Workbench] スクリプトの説明を編集するとスクリプトが表示されなくなる
3226868	1120192	[Silk Test Workbench] 「Java ベースの暗号化によるセキュリティの向上」について
3226716	1120198	Silk Test 2K 解像度の携帯電話のサポート
3228889	1120371	[Silk Test Workbench] プロジェクトの複製時に「データベース: 要求したアクセスは許可されていません」エラーが発生する
3230442	1120477	「プロジェクトの複製」ヘルプ トピックの情報が不足している
3230443	1120478	「プロジェクトの削除」ヘルプ トピックの情報が不足している
3230438	1120479	「プロジェクトの複製」ヘルプ トピックに書かれた手順が不足している
3231387	1120602	JQuery の脆弱性 - クロスサイト スクリプティング
3229017	1120608	アクティブ データのセル値が保持されない

Micro Focus へのお問い合わせ

Micro Focus は、世界的規模のテクニカル サポートおよびコンサルティング サービスを提供します。すべての顧客のビジネスを成功に導くために、信頼できるサービスをタイムリーに提供するように、Micro Focus はワールドワイドのサポート体制を整えています。

保守およびサポート契約を結んだすべてのお客様、および製品を評価中のお客様は、カスタマー サポートを受けることができます。高度なトレーニングを積んだスタッフが、お客様の質問にできる限り迅速かつ専門的にお答えします。

<http://supportline.microfocus.com/assistedservices.asp> にアクセスするか、またはメールを supportline@microfocus.com に送信して、Micro Focus SupportLine と直接連絡できます。

また、<http://supportline.microfocus.com> の Micro Focus SupportLine では、最新のサポートに関するニュースや、さまざまなサポート情報を得ることができます。このサイトに初めてアクセスした場合は、ユーザー登録が必要な場合があります。

Micro Focus SupportLine が必要とする情報

Micro Focus SupportLine をご利用の場合は、可能な限り次の情報を提供ください。情報が多ければ多いほど、Micro Focus SupportLine はお客様に適切なサービスを提供できます。

- 問題の原因と思われるすべての製品の名前およびバージョン番号
- 使用しているコンピュータの製造元およびモデル
- システム情報 (オペレーティング システムの名前やバージョン、プロセッサやメモリの詳細など)
- 問題の詳細な説明 (問題の再現手順など)
- 発生したエラー メッセージ
- お客様のシリアル番号

これらの番号は、Micro Focus から受け取った Electronic Product Delivery Notice 電子メールの件名および本文に記述されています。

Silk Test のライセンス


このセクションでは、Silk Test のライセンスを取得する方法について説明します。

複数のライセンス サーバーがある場合は、それぞれのライセンス サーバーに結び付けられた複数のライセンス ファイルが必要となります。1 つのライセンス サーバーで、複数の製品のライセンスを管理できません。


Silk Test ライセンスを受け取っている場合は、ライセンスをライセンス サーバーにインストールします。ライセンスを受け取っていない場合は、ライセンスを生成します。

ライセンス情報

評価版を使用しているのではない限り、Silk Test はライセンスを必要とします。

 **注:** Silk Test ライセンスは、Silk Test の特定のバージョンに固定されています。たとえば、Silk Test 21.0 には Silk Test 21.0 のライセンスが必要です。

ライセンス モデルは、使用しているクライアントとテストすることができるアプリケーションに基づきます。利用可能なライセンス モードに応じて、次のアプリケーションの種類がサポートされます。

ライセンス モード	アプリケーションの種類
モバイル ネイティブ	<ul style="list-style-type: none">モバイル Web アプリケーション<ul style="list-style-type: none">AndroidiOSネイティブ モバイル アプリケーション<ul style="list-style-type: none">AndroidiOS
フル	<ul style="list-style-type: none">Web アプリケーション (以下を含む)<ul style="list-style-type: none">Apache FlexJava アプレットモバイル Web アプリケーション<ul style="list-style-type: none">AndroidiOSApache FlexJava AWT/Swing (Oracle Forms を含む)Java SWT と Eclipse RCP.NET (Windows Forms および Windows Presentation Foundation (WPF) を含む)RumbaWindows API ベース <p> 注: ライセンスをフル ライセンスにアップグレードする場合は、http://www.microfocus.co.jp に移動します。</p>
プレミアム	フル ライセンスでサポートされるすべてのアプリケーションの種類 + SAP アプリケーション

ライセンス モード	アプリケーションの種類
	 注: ライセンスをプレミアム ライセンスにアップグレードする場合は、 http://www.microfocus.co.jp に移動します。
モバイル ネイティブ アドオン	フル ライセンスとプレミアム ライセンスでサポートされるテクノロジーに加えて、モバイル ネイティブ アドオン ライセンスによって、Android と iOS 上でのネイティブ モバイル アプリケーション テストのサポートを提供します。

テストされたソフトウェア

このセクションでは、Silk Test 21.0 がテストされたソフトウェアを一覧します。

オペレーティング システム


Silk Test 21.0 は、次のオペレーティング システムでテストされました。

- Microsoft Windows 8.1 (Windows ストア アプリ以外)
- Microsoft Windows Server 2012
- Microsoft Windows Server 2012 R2
- Microsoft Windows 10
- Microsoft Windows Server 2016
- Microsoft Windows Server 2019

Web アプリケーション

Open Agent の場合、Silk Test 21.0 は次のブラウザーおよび Web テクノロジーに対してテストされました。

テクノロジーの種類	テストしたバージョン
Mozilla Firefox**	70-82***
Google Chrome**	79-86
Chrome for Android	
Original Stock Android Browser (AOSP)	
iOS 上の Apple Safari	9、10.1、11、12、13、14
Mac 上の Apple Safari	9、10.1、11、12、13、14
Mac OS (Apple Safari または iOS のテストに使用)	10.12.6、10.13、10.14、10.15
Internet Explorer	10、11
Microsoft Edge レガシ	Windows 10 October 2018 Update (44.17763) Windows 10 May 2019 Update (44.18362)
Microsoft Edge (Chromium ベース)	81-86
Opera	71
Android	5.x、6.x、7.x、8.x、9.x、10.x
iOS	11.x、12.x、13.x
Xcode	Xcode 10.x、Xcode 11.x、Xcode 12.x
Silverlight	3 (Silverlight Runtime 4)、4 (Silverlight Runtime 4 および Silverlight Runtime 5)

 **注:** Microsoft は、Silverlight 5.0 を 2021 年までサポートすることをコミットしましたが、Silverlight の今後のロードマップに関する具体的な情報は何もなされませんでした。我々はお客様に対する最高のサ

テクノロジーの種類	テストしたバージョン
	ポートを維持するよう努力しますが、このプラットフォームに対する Microsoft から得られるサポートに限界がある可能性があります。
Apache Flex (Internet Explorer のみ)	Silk Test 21.0 は、Apache Flex バージョン 3.5 から Apache Flex バージョン 4.14.1 まで、および Adobe AIR 2.0 以降 (Apache Flex 4.x でビルド) を使用してテストされました。 Silk Test は Adobe Flash Player 10 以降をサポートしています。
Java アプレット (Internet Explorer のみ)	Silk Test は、Internet Explorer 上で実行する Web アプリケーションでのアプレットをサポートします。
HTML5	
Oracle Forms	10g および 11g (Internet Explorer 用)

* 延長サポート版 (Extended Support Release)。

** このリストには、Silk Test 21.0 のリリースまでに Silk Test 21.0 でテストされたブラウザのバージョンが含まれます。ブラウザ側で互換性が保たれていれば、Silk Test 21.0 は新しいバージョンを使用してテストできます。

*** Mozilla Firefox の以前のバージョンと異なり、Mozilla Firefox 52 以降のバージョンには、いくつかの制限事項があります。制限事項についての詳細は、Silk Test クライアントのドキュメントを参照してください。

ネイティブ モバイル アプリケーション

Open Agent の場合、Silk Test 21.0 は次のモバイル オペレーティング システムに対してテストされました。

テクノロジーの種類	テストしたバージョン
Mac OS (Apple Safari または iOS のテストに使用)	10.12.6、10.13、10.14
Android	5.x、6.x、7.x、8.x、9.x、10.x、11.x
iOS	10.x、12.x、13.x、14.x

デスクトップ アプリケーション

Open Agent の場合、Silk Test 21.0 は次のテクノロジーの 1 つで開発されたデスクトップ アプリケーションに対してテストされました。

テクノロジーの種類	テストしたバージョン
Java AWT/Swing (Java Foundation Classes を含む)	Java 6、Java 7、Java 8、Java 11、Java 13、Java 14
Java SWT	Java 6、Java 7、Java 8、Java 11、Java 13、Java 14 Silk Test 21.0 は Java SWT バージョン 3.2 以降に対してテストされました。 Silk Test では、スタンドアロンおよび Rich Client Platform (RCP) アプリケーションがサポートされます。
JavaFX	Microsoft Windows 8 以降


テクノロジーの種類	テストしたバージョン
SAP*	SAPGUI クライアント 7.10、SAPGUI クライアント 7.20、SAPGUI クライアント 7.30、SAPGUI クライアント 7.40、SAPGUI クライアント 7.50、SAPGUI クライアント 7.60
Rumba	8.1、8.2、8.3、9.0、9.1、9.2、9.3、9.4、9.5
MFC	14.11
Visual COBOL	
Win 32	任意
WinForms	.NET 3.5 SP1、4.0、4.5、4.6、4.7、4.8
WPF	.NET 3.5 SP1、4.0、4.5、4.6、4.7、4.8

* SAP アプリケーションのテスト時の問題を避けるため、Micro Focus では最新のパッチセットをインストールすることを推奨します。


Silk Test Workbench

Silk Test 21.0 は Silk Test Workbench 資産の格納用に次のデータベースに対してテストされました。

- Microsoft SQL Server 2012 SP1
- Microsoft SQL Server 2014
- Microsoft SQL Server 2016
- Microsoft SQL Server 2017
- Oracle 11.1

 **注:** Oracle 11 ODBC ドライバは、パッチ レベル 4 (11.2.0.4.0) 以降が必要です。Oracle パッチ 13390677 には正しいドライバが含まれています。パッチは、[ここ](#) からダウンロードできます。

- Oracle 11.2

 **注:** Oracle 11 ODBC ドライバは、パッチ レベル 4 (11.2.0.4.0) 以降が必要です。Oracle パッチ 13390677 には正しいドライバが含まれています。パッチは、[ここ](#) からダウンロードできます。

- Oracle 12.1。Silk Test Workbench は、AL32UTF8 文字エンコードの Oracle 12.1 データベースをサポートします。
- Microsoft Access 2000 (シングルユーザー データベースとして)

 **注:** Micro Focus は、Microsoft SQL Server を使用することを推奨します。

UFT Developer (Silk4J)

Eclipse 4.4.2 以降では、32 ビットおよび 64 ビットの両方で UFT Developer (Silk4J) を統合できます。バージョン 4.9 は Silk Test に付属しています。

IntelliJ 2019.3 以降では、32 ビットおよび 64 ビットの両方で UFT Developer (Silk4J) を統合できます。

UFT Developer (Silk4J) を使用するには、UFT Developer (Silk4J) をインストールするシステムに Java 8 以降をインストールする必要があります。

UFT Developer (Silk4NET)

UFT Developer (Silk4NET) は Microsoft Visual Studio の次のエディションと統合できます。

バージョン	エディション
Visual Studio 2012	<ul style="list-style-type: none"> • Professional

バージョン	エディション
	<ul style="list-style-type: none"> • Ultimate
Visual Studio 2013	<ul style="list-style-type: none"> • Community • Professional • Premium • Ultimate
Visual Studio 2015	<ul style="list-style-type: none"> • Community • Professional • Enterprise
Visual Studio 2017	<ul style="list-style-type: none"> • Community • Professional • Enterprise
Visual Studio 2019	<ul style="list-style-type: none"> • Community • Professional • Enterprise


Silk Test Classic

Silk Test Classic のデータ ドリブン ワークフローは、以下に対してテストされました。

- テキスト ファイルおよびカンマ区切り値ファイル (*.txt ファイルおよび *.csv ファイル)
- MS Excel
- MS Access
- MS SQL Server
- Oracle (部分的なサポート)
- SyBase SQL Anywhere

Silk Test Classic は、ODBC を使用して上記のデータベースにアクセスするため、有効な ODBC ドライバを持つこれらのデータベースのバージョンに対してテストされました。

Silk Test Classic の **Select Data Source** ダイアログ ボックスで、Silk DDA Excel または Segue DDA Excel のいずれかのデータ ソースを選択できます。新しいデータ ドリブン テストケースの場合は、Silk DDA Excel データ ソースを選択します。Segue DDA Excel データ ソースは後方互換性のために選択します。これにより、Segue DDA Excel を参照する既存の .g.t ファイルが引き続き機能します。

 **重要:** このドキュメントに記載された情報は、Silk Test の本バージョンのリリース時点のものに限られますが、サポートしているソフトウェアとテクノロジーに対する新しいリリースと ランタイムのバージョンについては、可能な限り対応するよう努めます。サポートするソフトウェアの新しいリリースとバージョン、あるいは記載されていないソフトウェアに関してご質問がある場合には、Micro Focus までお問い合わせください。